



青少年愛護条例が 改正されました

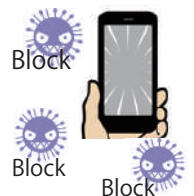
性犯罪・凶悪犯罪から青少年を守り育てよう



兵庫県
マスコット
はばタン

青少年愛護条例の一部がこのほど改正され、インターネット上の有害情報等への対応強化、18歳未満の青少年への自撮り勧誘行為の禁止、“女子高校生”を売りにしたサービスを行う「JKビジネス」規制の3項目が定められました。

フィルタリング利用の強化



スマートフォンの普及で青少年を取り巻くインターネットの利用環境が変化していることから、保護者と事業者が携帯電話端末等でフィルタリングを利用する義務を強化し、青少年が使用する際の契約時には「ネット利用に関する基準（ルール）づくり」を徹底するよう保護者に説明する義務などを付しました。犯罪に巻き込まれる危険性を減らし、ネット依存対策にもつなげていくねらいがあります。【平成30年2月1日施行（「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律一部を改正する法律」の施行の日）】

自撮り勧誘行為の禁止

青少年に自らの裸の写真等を提供するよう求める自撮り勧誘行為については、児童ポルノにあたるものを求める行為そのものを禁止しました。だましたり、おどしたり、または困惑させるなど不当な方法で提供を求めた者には罰則も規定しています。【平成30年4月1日施行】

JKビジネスを規制

18歳未満の青少年にマッサージや添い寝などで接客させる「JKビジネス」は、わいせつ行為を持ちかけるなど犯罪につながる恐れもあることから、無店舗型を含めて規制の対象とする営業内容を定め、青少年を業務に従事させたり勧誘させることなどを禁じました。違反した場合は6カ月以内の営業停止と罰則を科し、県の職員や警察等が立ち入り調査できる権限も規定しています。【平成30年10月1日施行】



◆ ひょうご青少年憲章 ◆

- 1 自分を大切に、自らを律し、行いに責任をもって生きていこう
- 2 ふれあいを深め、正義感をもち、社会を担う一人として生きていこう
- 3 人の痛みや喜びを感じあえる心をもって生きていこう
- 4 多様な人々の存在を受け入れ、ともに支えあって生きていこう
- 5 自然を愛し、生命を尊び、みえない世界にも襟を正して生きていこう
- 6 先人に学び、明日に夢をえがき、勇気をもって未来を拓いていこう

賛助会員を募集しています

賛助会費は税制面での優遇措置の対象になります
～ご寄付いただいた方の名簿をホームページに掲載しています～
次代を担う青少年を育成するためぜひご協力をお寄せください

会費 賛助会員（個人）年額 1口 2,000円以上
賛助会員（法人）年額 1口 10,000円以上

賛助会員カードを提示すると、県内の美術館等で
入館料・入園料割引等の特典
を受けることができます

*詳細は、兵庫県青少年本部、または各地方青少年本部までお問い合わせください

編集 後記

特集面で紹介した「ひょうごケータイ・スマホアンケート」によると、小学生の半数以上が携帯電話を所持しており、まだ20代の私の時代からでさえ、状況が大きく変化しているなど感じます。

近頃、SNSなどのネットを通じた事件が多く見られます。子どもと大人と一緒にネット利用のルール等について話し合っ、楽しく安全にネットを使えるようにしたいですね。(W)

出会いGO! ひょうご出会いサポートセンターを ご活用ください!

～兵庫県があなたの出会いをお手伝い～

あいサポ会員

はばタン会員

イベントで気軽に婚活を始めたい お見合いでじっくり考えたい

ひょうご出会いサポートセンター

TEL:078-891-7415 FAX:078-891-6829

青少年ひょうご

No.96

2018年1月発行

CONTENTS

特集……………P2～P3

青少年のネットトラブル防止大作戦の推進

本部事業報告……………P4～P5

- ・兵庫県青年洋上大学海外養成塾
- ・好評！専門職の出会いイベント
- ・平成29年度「兵庫県青少年本部表彰」

地方青少年本部だより……………P6～P7

- ・六甲山を親子で学ぼう！展（神戸）
- ・第8回北播磨地区子ども会議（北播磨）
- ・夏休み親子カヌー体験会～水辺の楽しさと危険を知ろう～（中播磨）
- ・山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会（淡路）
- ・第50回青少年のつどい歩こう大会（但馬）
- ・きらっと☆阪神北オータムフェスタ（阪神北）

青少年愛護条例の改正

賛助会員の募集など……………P8

～特集～

青少年のネットトラブル 防止大作戦の推進

スマホサミット in
ひょうご 2017



地方青少年本部

阪神南青少年本部 06-6481-4634	西播磨青少年本部 0791-58-2131
阪神北青少年本部 0797-83-3138	但馬青少年本部 0796-26-3648
東播磨青少年本部 079-421-9105	丹波青少年本部 0795-72-5168
北播磨青少年本部 0795-42-9352	淡路青少年本部 0799-26-2048
中播磨青少年本部 079-281-9198	神戸事務所 078-382-8249



編集・発行

公益財団法人
兵庫県青少年本部
Hyogo Youth Services Administration

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3 兵庫県民会館 8階

TEL.078-891-7410 FAX.078-891-7418

http://www.seishonen.or.jp/

特集

青少年のネット トラブル防止大作戦

スマホサミット in ひょうご 2017 を開催

兵庫県青少年本部は、「青少年のネットトラブル防止大作戦」を重点事業に掲げています。その一環として、小・中・高校生が主役になってインターネット利用のルールづくりを考える、「スマホサミット in ひょうご 2017」を12月16日(土)、神戸市中央区の県公館で開催しました。子どもたちや保護者ら約340人が参加してネットに潜む危険性や使い方の問題点などをともに学び「ひょうごスマホ宣言 2018」をとりまとめて発信しました。



ひょうご
スマホ宣言
2018

【時 間】 もうちょっと そのあとすぐに やめられる？

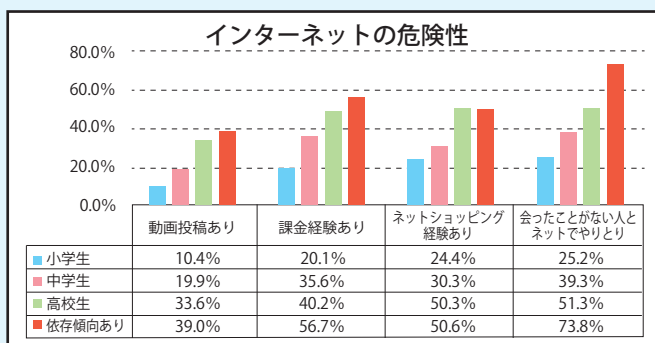
【人間関係】 隠された 危険な感情 よみとれる？

【危 険】 消えないよ あなたが出した その写真

【フィルタリング】 子を守る 魔法のシステム 親心

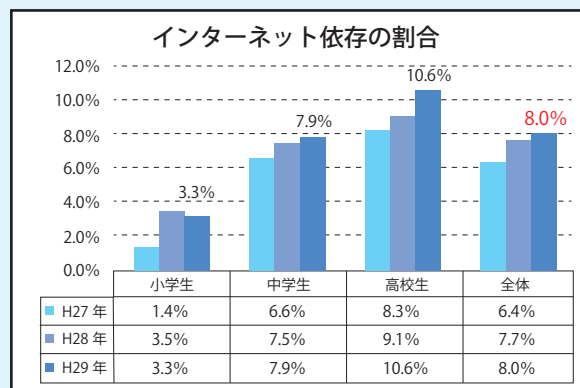
ひょうごケータイ・ スマホアンケート

青少年のインターネット利用の実態を把握するための「ひょうごケータイ・スマホアンケート」、青少年のインターネット依存の実態について調査する「インターネット夢中度アンケート」を県下の小学5、6年生・中学生・高校生を対象に実施しました。



依存傾向にある青少年の割合は増加傾向にあり、今年度は8.0%(昨年度から0.3%増)という結果となりました。また、そのうち7割以上が会ったことがない人とやりとりをした経験があるなど、青少年がインターネットの危険にさらされている状況がうかがえる結果となりました。

詳しい結果は→ 兵庫県 夢中度



ネット利用対策で4団体が優秀事例を発表、2団体に特別賞

サミットでは、応募のあった県内73団体のうち、ネット利用対策の優秀事例として4団体が取り組みを発表。会場で審査結果で、多可町立八千代中学校が最優秀賞を受賞しました。夜9時以降はSNSをやらない運動を平成26年度から展開し、生徒たち自身で決めたルールを動画にして配信するなど自主的な活動を進めています。

また、長年ネット利用対策に先進的に取り組んでいる2団体に特別賞が授与されました。

最優秀賞	多可町立八千代中学校
優秀賞	洲本市立広石小学校
奨励賞	姫路市立東光中学校 西宮市立上甲子園中学校
特別賞	兵庫県立千種高等学校 猪名川町 SWING-BY 実行委員会

中・高校生らが“本音”で 公開討論会！

また、小・中・高校生ら11人による公開討論会も行われ、普段は言えないスマホやSNSの困りごとや大人に求めることなど、本音の気持ちを素直に訴えました。



小学生に人気の
携帯ゲーム機も
SNSにつながら、
ルールがないと危険

スマホに夢中になって
寝不足になり、
勉強に集中できず
イライラする

なぐさめて、かまって
ほしくて、疲れたという
感覚で“死にたい”と
書き込む

親は頭ごなしに叱るの
ではなく、子どもの悩みに
向き合い、同じ目線で
話を聞いてほしい

人をつなげる Off-Line Camp 2017 スマホサミットで結果報告

ネットをやめられない小・中・高校生ら13人が参加した、「人をつなげるオフラインキャンプ2017」の実施結果もサミットで報告されました。

県立いえしま自然体験センターを会場に、スマホから遠ざかってカヌーや炊事などの野外活動を通じてリアル楽しさを実感してもらうとともに、普段の生活を見直す4泊5日のキャンプを実施。



カヌー体験

参加した中・高校生は「ゲームはいつでもできる。目の前にいる友だちとの遊びは今しかできない」「キャンプでは日常が充実し、スマホのことは考えなかった」「スマホをさわる時間を減らし、リアル(現実)を大切にしたい」と成果を発表しました。



終わりの会での目標(ルール)発表

青少年のネット トラブル防止！



メッセージコンテスト 受賞者を発表

小学生の部

- 最優秀賞** あぶないよ ネットの世界へ 一人旅
山中爽太郎さん(尼崎市立大島小)
- 優秀賞** 画面での いいねの数より 会話がほしいね
田代陽愛さん(尼崎市立大島小)
- 奨励賞** メールより 会って話そう 顔を見て
高田明伸さん(尼崎市立大島小)

中・高校生の部

- 最優秀賞** 消えないよ あなたが出した その写真
前田夢果さん(加古川市立中部中)
- 優秀賞** 考えて 書いていいの か その言葉
西尾未来さん(神戸学院大学附属高)
- 奨励賞** 気を付けよう ネットに書き込む メッセージ
松上大祐さん(神戸学院大学附属高)

一般の部

- 最優秀賞** スマホデビュー 家族でルールを 決めてから
今北真奈美さん(宝塚市)
- 優秀賞** ネット利用 ルールづくりは 親と子で
下沼美樹さん(稲美町)
- 奨励賞** 子の気持ち 検索するより 話し合い
一山由佳さん(西宮市)

学校賞

尼崎市立大島小学校、神戸学院大学附属中学校・高等学校、加古川市立中部中学校、加西市立加西特別支援学校、三田市立長坂中学校、新温泉町立夢が丘中学校、兵庫県立千種高等学校



兵庫の未来をつくる国際性豊かな青年リーダーを育成する、県青年洋上大学「海外養成塾」の修了式が10月15日(日)、神戸市垂水区の県自治研修所で開かれました。7月22日(土)の事前研修を皮切りに、9月16日(土)から6日間かけてシンガポール経由で西オーストラリア州を訪れた本研修など、延べ約4カ月間のプログラムを42人の若者が達成して新たな兵庫づくりに挑戦することを誓い合いました。



青年洋上大学(洋大)は、船上での仲間づくりや旅先での国際交流などで次代の青年リーダーを育てようと県が昭和46年から実施してきたもので、同窓会の会員数は1万4百人を超えています。

洋大は平成23年度から海外養成塾として再スタートし、隔年で実施。今年度で第4回目です。本研修では団長に兵庫県政策創生部長、学長に当本部の梅谷順子理事長が務め、スタッフを含めた総勢52人が関西国際空港を出発しました。



県青年洋上大学「海外養成塾」 地域リーダーめざして西オーストラリアへ

一行は同州のロジャー・クック副首相を表敬訪問し、昨年に友好提携35周年を迎えた両県州の交流促進策を話し合いました。また、西オーストラリア大学とカーティン大学を訪問し、地元の学生と言葉の壁を乗り越えてふれあい、笑顔があふれる場面も。日ごろの生活や目標などを語り合い、を受けあって友情を育みました。夜はホテルで両大学の学生、塾生ら約百人による交流会も開催して賑やかに心を通い合わせたほか、西オーストラリア大学の雄大な自然や家庭を大切にする地元の人々の生活文化にふれました。

帰国後の事後研修では、チームごとに海外で得た経験、課題意識、今後の目標などを話し合い、国際社会や地域社会で自分たちが果たす役割などをプレゼンテーションしました。



学生代表の
本澤 まゆさん

仲間づくりの大切さや、オーストラリアと日本の生活や働き方に対する考え方の違い、異文化理解の考え方などを学びました。現地に行かなければ気づかないことも多く、とても有意義でした。兵庫の未来がより良いものになるよう、この研修で感じたことや学んだことを多くの人に伝えていきます。

ひょうご出会いサポートセンター

看護師など専門職の 「出会いイベント」を展開 4回で延べ31組のカップルが誕生!



異性と出会う機会が少ない職種の男女を引き合わせ、将来のパートナーを見つける手助けをするのがねらいです。25～45歳の未婚者が対象で、職種は自衛官、県警職員、消防士、公務員、看護師、保育士、歯科衛生士、薬剤師、栄養士などです。

同センターとともに事業を企画・実施するのは、男女交流イベントなどを手がける団体「夢こらぼ」(主宰＝松尾やよい)。初対面の男女を和ませるミニゲーム、好感を与える身だしなみや交際マナーを学んで「結婚力」をアップさせるセミナーも盛り込み、過去4回のほぼすべてで定員を超える応募があるなど人気を集めています。

篠山市で11月26日(日)に開かれた第3回イベントでは、県看護協会などを通じて参加を呼びかけ、女性の応募者数は108人に。抽選で選ばれた男女各15人が県立陶芸美術館に集まり、やきものの里の散策や秋の味覚を満喫しました。中では、男女が協力して茶をたてる遊びで盛り上がり、茶せんを「円満」に回して和気あいの雰囲気。最後のフリートークでは緊張も薄れて会場は熱気に包まれていました。

今後、1月14日(日)に三田市、2月4日(日)に西播磨地域、3月3日(土)に淡路市で開催予定。はばタン会員、あいサポ会員向けにも同様のイベントを実施します。詳しくは同センター(☎078・891・7415)

平成29年度「兵庫県青少年本部表彰」

公益財団法人兵庫県青少年本部表彰は、地域で優れた活動を地道に展開している青少年や指導者などを表彰し、その活動をさらに奨励するものです。

平成29年度の受賞者が、右記の16名及び6団体に決定し、11月25日(土)に兵庫県民会館11階パルテホールで表彰式を行いました。



兵庫県空調衛生工業協会から 寄付金 12回目!



兵庫県空調衛生工業協会(山口敬三会長)から、今年も寄付金をいただきました。青少年の健全育成を支援しようと当本部に毎年寄付しており、今回で通算12回目となります。

同協会はビルや病院の空調設備といった工事を扱う県内企業でつくる団体。

本年度から、三田建設技能研修センターの空調衛生基礎コースに参画するなど、若者向けのアプローチにも力を注いでいます。

青少年の表彰

個人(6名)

岡崎 正悟(芦屋市) 川崎 未鈴(姫路市)
寺田 雄人(大阪府池田市) 名越 郁(姫路市)
神田 真実(姫路市) 山際 龍暉(相生市)

団体(4団体)

中町剣道スポーツ少年団(多可郡多可町)
一般社団法人ソーシャルメディア研究会(姫路市)
兵庫県立香寺高等学校児童保育系列(姫路市)
村岡おんがえしプロジェクト(美方郡香美町)

指導者の表彰

個人(10名)

久保 宗一 大村 明美(神戸市)
(川辺郡猪名川町) 中山 正樹(川西市)
藤原 泰和(西脇市) 春日 多津子(加古川市)
後藤 美枝子(姫路市) 井上 清吉(神戸市)
溝畑 和男(篠山市) 奥本 富郎(神戸市)
富永 和也(神戸市)

団体(2団体)

西脇多可防犯協会(西脇市)
宍粟少年指導委員会(宍粟市)

青少年本部
神戸事務部

六甲山を親子で
学ぼう！展

11月26日（日）、新長田にある「ふたば学舎」において、NPO 法人ふたばとの共催で「六甲山を親子で学ぼう！展」を開催しました。



六甲山は神戸市を含む阪神間の市街地から近く、古くから人々の暮らしと密接に結びついてきました。現在でも、ハイキングやキャンプ、自然・野鳥の観察、1000万ドルの夜景など様々なレジャー・観光を楽しむことができます。今回は、そんな歴史ある六甲山の開発が大きく進んだ昭和初期の様子を当時の写真やパンフレット、切符などの貴重な資料とともにパネルで紹介しました。

会場では、当時のケーブルカーやロープウェイ、遊覧バスの写真、スキー場やスケート場など六甲山上のにぎやかな様子を興味深く見る来場者の姿がありました。



身近な山系である六甲山の意外に知られていない歴史の紹介パネルを通じて、六甲山の魅力を再発見できたようです。今回のパネル展示が、六甲山に足を運びきっかけになったのではないかと思います。

◇青少年本部神戸事務部

地域活動コーディネーター 田淵 翔太

北播磨
青少年本部

第8回北播磨地区
子ども会議

11月19日（日）、加東市立滝野図書館会議場で「第8回北播磨地区子ども会議」を開催しました。



「地球温暖化について考えてみよう！」をテーマに北播磨地域の小中学生63名が一堂に会し、地球温暖化の最新情報を学び、環境への取り組みをともに考え交流を図りました。会議では、講師である（株）三隆国際気象代表取締役の三橋功治氏から話を聞いた後、10班に分かれグループワークを行いました。各班には兵庫教育大学の学生リーダーが参加し、生態系の変化や農作物の被害など、自分たちの身近で起こっているさまざまな影響やその原因と解決策について考え、意見を申し合いました。



最後の全体会では各班が模造紙に要点をまとめ、分かりやすく発表することができました。

子どもたちは、普段の生活の中で自分たちでも出来る少しの気配りが「地球温暖化」の防止に繋がることを知り、身近な環境の改善を考える良い機会となりました。

◇北播磨青少年本部

地域活動コーディネーター 笹倉 綾子

中播磨
青少年本部

夏休み親子カヌー体験会
～水辺の楽しさと危険を知ろう～

8月5日（土）、小学1年生から6年生までの親子を対象に、姫路市内を流れる市川において「夏休み親子カヌー体験会」を開催しました。姫路市カヌー協会や日本ボーイスカウトの方々に指導をいただき、約3kmの区間をカヌーやラフトボートを操縦して水辺の楽しさと危険を学びました。



初めは真っ直ぐに漕ぐことが困難でしたが、みんなで声をかけ、支え合うことで、力強く進んでいくことができました。また、河川で遊ぶ時の危険や、溺れている人の救助方法、簡単な防災グッズの作り方などを体験し、参加者から「普段とは違った目線で自然を感じることができた」「知らない人たちとも協力してゴールまでたどり着けたことがうれしかった」などの感想をいただきました。親子でカヌーやラフトボートを体験し、中播磨の自然やチームでの協調性の重要性を感じながら、親子のふれあいや絆を深めて、思い出に残る貴重な体験会となりました。



◇中播磨青少年本部 地域活動コーディネーター 陰山 真理

但馬
青少年本部

山陰海岸ジオパーク
小学生駅伝競走大会

10月28日（土）、全但バス但馬ドーム周辺駅伝コースにて、「第4回山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会兼第28回但馬小学生駅伝競走大会」を開催しました。

但馬管内及び京都府京丹後市、鳥取県岩美町から52校、男女合せて107チーム、総勢597名の小学生が参加しました。



当日は天候が心配されましたが、競技中はなんとか雨も降らず、怪我もなく、全チームが完走しました。先生方や父母、祖父母の力のこもった熱い声援と、子どもたちの一生懸命走る姿、悔し涙を流す姿に、胸が熱くなる思いでした。

駅伝を通して学んだ仲間との絆、応援に駆けつけてくれた家族への感謝の気持ちを忘れず、これからの生活に生かしてくれることを期待しています。

◇但馬青少年本部 地域活動コーディネーター 奥田 由恵



淡路
青少年本部

第50回青少年のつどい
歩こう大会

～淡路島みんなでウォーキング～



思いやりと自らの力で人生を切り拓いていく逞しさを持った青少年を育てることをねらいに、「青少年のつどい歩こう大会」を毎年11月23日に開催しています。

今年は第50回を記念し、淡路市長沢地区の「東山寺もみじ祭り」と同時開催しました。天候にも恵まれ、淡路島内から130人が集まり、参加した子どもたちは元気いっぱい東山寺までの道のりを、自然とふれあい、交流を深めながら歩きました。

東山寺の境内に向かう参道は、真っ赤に色づいた紅葉に包まれ参加者を暖かく歓迎。地元の方の炊き出し、綿菓子の振る舞いを満喫し、バルーンアート教室は大盛況でした。交流のつどいではビンゴゲームが行われ、子どもから大人まで楽しんでたのが印象的でした。参加者からは、「毎年参加している」「楽しかった」との声が聞かれました。多くの方の支援と協力のもと、楽しい時間を過ごすことができました。

◇淡路青少年本部

地域活動コーディネーター 山形 真理



阪神北
青少年本部

きらっと☆
阪神北オータムフェスタ

阪神北若い力の魅力発信事業

阪神北地域の青少年が、9月3日（日）にキセラ川西せせらぎ公園で開催された「HYOGO彩りフェスタ」のステージやブース展示などで、日頃の成果を発表しました。ステージでは、華やかなジャズやポップスのライブステージ、エネルギッシュなダンスパフォーマンスに観客も大いに盛り上がりました。



ブースでは、ロボカップジュニアサッカーやフラワーアレンジメント・農業鑑定競技体験、川西由来の歴史の紙芝居、高校生と地域が連携して開発したじゃがいものチーズケーキの紹介、地図を片手に会場のお宝スポット探検ゲームなどが行われ、趣向を凝らした出展は子どもから大人まで幅広い世代に好評を博しました。

参加した高校生は「学内とは違うスケールで地域のみんなが盛り上がり、楽しむことができるのが良かった」という声をいただきました。

◇阪神北青少年本部

地域活動コーディネーター 吉田 潤子